

令和 2 年度 財政援助団体等監査報告書

第 1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第 199 条第 7 項の規定による財政援助団体等監査

2 監査の対象

(財政援助団体) 大垣市文教協会

(所 管 課) 教育委員会事務局 学校教育課

3 監査の期間

令和 2 年 11 月 16 日から令和 3 年 3 月 12 日まで

4 対象事項

令和元年度分の財政援助に係る出納その他の事務

5 監査の方法

財政的援助等に係る出納その他事務の執行が適正かつ効率的に行われているかを主眼として、財政援助団体及び所管課から監査資料及び関係帳簿等の提出を求め、各種規程や決算資料の確認、会計諸帳簿等との照合、関係者からの聴取等により監査を行った。

6 監査の主な着眼点

(財政援助団体)

- ・ 補助金申請にかかる事務は、規則等に基づき適時に行われているか
- ・ 処務規程等の関係規程は整備されているか
- ・ 会計経理は適正に行われ、内部統制は機能しているか

(所 管 課)

- ・ 補助金の決定は法令等に適合し、手続きは適正に行われているか
- ・ 補助金交付要綱は適正に整備されているか
- ・ 補助金の履行状況及び効果について実績報告書等により確認されているか

第2 監査対象団体の概要

1 設立年月 昭和39年11月

2 設立目的

大垣市の教育尊重の伝統に鑑み、教育の振興及び充実を図ることを目的とする。

3 事業の内容

- (1) 学校教育、幼児教育及び保育の振興に関する事項
- (2) 社会教育及び家庭教育の振興に関する事項
- (3) 教育の社会的な推進に関する事項
- (4) 機関紙発行に関する事項
- (5) 教育資料の収集に関する事項
- (6) 郷土文化の研究調査に関する事項
- (7) 郷土出身の偉人顕彰に関する事項
- (8) 教育功績者の表彰に関する事項
- (9) その他文教協会の目的達成に必要な事項

4 組織（令和2年4月1日現在）

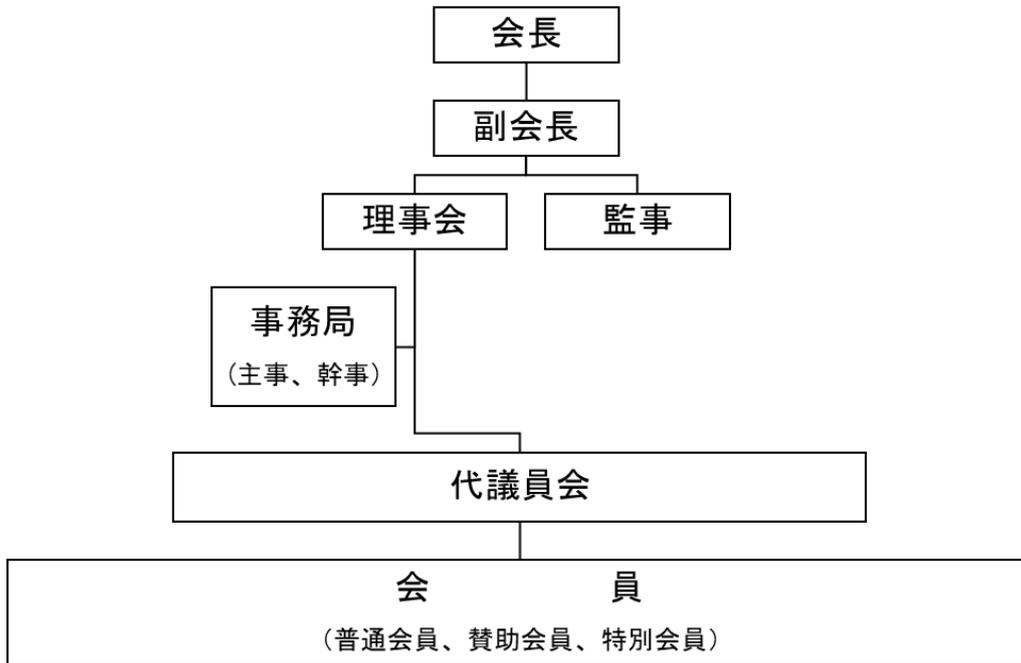
(1) 役員

会長：1名
副会長：3名
理事：若干名
監事：3名
代議員：若干名

(2) 職員

主事：1名
幹事：若干名

組織図



5 補助金の概要

(1) 大垣市文教協会研修事業等補助金 5,453,061 円

〔対象事業及び経費〕

① 学校別支援事業

学校等が行う研修等に必要な経費

② 教職員研修事業

各研究会が行う研修に必要な経費及び負担金

③ 刊行物発行事業

会報発行に係る必要な経費

(2) 大垣市発展・体験学習推進事業補助金 350,000 円

〔対象事業〕 発展・体験学習推進事業

〔対象経費〕 補助事業に要する経費から当該事業における参加者負担金を控除した額

〔補助金額〕 限度額は 100 万円とする

6 収支決算状況（過去3年比較）

（収入）

（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
普通会員会費	3,315,600	3,322,800	3,286,800
特別会員会費	1,070,000	1,050,000	990,000
賛助会員会費	918,000	902,000	866,000
市補助金	6,829,493	5,583,722	5,803,061
利息	41	38	31
記念誌売上金	18,900	17,000	13,260
基金	200,000	200,000	200,000
負担金	853,644	414,000	448,200
(1) 市民との意見交換会参加負担金	0	306,000	297,000
(2) 小学校英語力向上研修費負担金	-	108,000	151,200
(3) 岐阜大学教職大学院負担金	-	0	0
(4) 海外研修参加負担金	853,644	-	-
前年度繰越金	1,196,494	1,486,597	1,106,150
合 計	14,402,172	12,976,157	12,713,502

（支出）

（単位：円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1. 事業費	10,936,102	9,826,023	10,047,242
(1) 総会費	17,700	200,000	104,472
(2) 研修費	8,968,518	7,657,815	7,917,827
A 学校別研修費	3,425,200	2,376,000	2,367,200
B 教職員研修費	3,393,474	4,432,619	4,778,866
C 市民との意見交換会	496,200	849,196	771,761
D 海外研修補助	1,653,644	-	-
(3) 講習懇談費	163,070	195,610	203,598
(4) 学術郷土文化費	382,000	382,000	388,000
(5) 刊行物発行費	1,054,814	1,040,598	1,082,662
(6) 発展・体験学習推進事業費	350,000	350,000	350,683
2. 会議費	95,000	100,000	114,000
3. 旅費	0	0	0
4. 県教研負担金	573,390	570,630	568,220
5. 事務局費	348,092	347,314	333,117
6. ホームページ運営費	261,360	323,460	254,200
7. 積立金	700,000	700,000	700,000
8. 予備費	1,631	2,580	0
当期支出合計	12,915,575	11,870,007	12,016,779
次年度繰越金	1,486,597	1,106,150	696,723
合 計	14,402,172	12,976,157	12,713,502

第3 監査の結果

監査資料及び関係書類に基づき監査をした結果、一部に改善又は検討を要する事項が見受けられたので早急に対処されたい。

なお、特に留意されたい事項について意見として述べる。

1 財政援助団体（大垣市文教協会）

会計事務について、団体の規程等がないため一貫性がなく処理誤りも見受けられることから、会計規程等の整備を図り基準に基づき事務執行されたい。

各事業における補助金に係る内容について、補助対象分や自主事業分の算出の基礎を明確にし、市に提出する書類の記載についても同様に対応されたい。

また、市の補助金交付担当と団体の経理事務担当が同一であることにより、チェック機能が十分でないことが見受けられた。今後は、業務分担を行い、チェック体制を整え事務処理の徹底を図られたい。

2 所管課（教育委員会 学校教育課）

補助金の交付について、公正性や透明性を確保する上からも、算定の基準がより明確となるよう交付要綱の見直しをされたい。

また、団体の会計事務について、定期的に内容を確認するなどの体制を整え、指導監督機能を強化されたい。

最後に、本市は古くから水の都とよばれ、豊富な水資源を利用して産業・経済や文化が生まれ「文教のまち大垣」の伝統が受け継がれてきた。こうした教育尊重の伝統に鑑み、教育の振興及び充実を図ることを目的に文教協会が設立され、学校教育等の推進に尽力されている。

社会情勢が目まぐるしく変化し、コロナ禍の影響もあり教育を取り巻く環境も大きく変わりつつあるなか、今後とも、子供たちが未来に夢と希望を持ち、新たな文化の創造につながるよう教職員等の研修の充実を図り、本市の教育の更なる発展に期待したい。